

# 訪問記録（大韓民国）

## 韓国入試見聞録

大学評価・学位授与機構 荻上統一

- ・ 韓国の高等教育機関は 2006 年度に 357 校、うち 4 年制大学が 175 校である。
- ・ 設置形態は、日本と同じく国立、公立、私立と 3 形態あり、大学数、学生数共に私立が多い点も日本と同じである。
- ・ 2006 年度の高等教育機関への進学率が 82.1%であり、就学率で見ても 67.8%と、「ユニバーサル化」が日本以上に進展している。
- ・ 画一的な選抜から、各大学の独自性の強い選抜へ移行している。
- ・ 大学個別の学科試験は認められていない。
- ・ 「選抜大学」（学生を選抜する大学）と「募集大学」（学生を募集する大学）に 2 極化している点も日本と同じ。
- ・ 一時期禁止されていた塾・家庭教師が復活し、一般化している。
- ・ 総合学生生活記録：知・徳・体の 3 領域の記録。知（教科の成績）は 5 段階表記。活用方法は各大学が定める。
- ・ 大学修学能力試験：11 月に韓国教育課程評価院（KICE）が実施する。
- ・ 募集時期
  - 随時募集
    - ◇ 随時募集（1 学期：7～8 月）・・総合学生生活記録、推薦書、面接、口述試験により判定
    - ◇ 随時募集（2 学期：9～12 月）・・大学修学能力試験（足切り）、総合学生生活記録、推薦書、面接、口述試験により判定
  - 定時募集・・11 月～2 月に 3 回募集。大学修学能力試験、総合学生生活記録を中心に判定。
- ・ 随時募集（1 学期）に合格した場合は、合格した大学の 1 つに入学しなければならない。
- ・ 選抜形態
  - 一般選抜：大学修学能力試験の成績と総合学生生活記録により選抜するが、前者が中心。
  - 特別選抜：多様な入学者を確保するための選抜。農・漁村地域の生徒、在外韓国人、職業系高校の生徒、特別な能力を持つ者などが対象。
- ・ 募集時期と募集形態の組合せが 4 通りある。

	随時募集	定時募集	
一般選抜	○	◎	現在約 60%、年々減少傾向

特別選抜	◎	○	現在約 40%、年々増加傾向
	現在約 60% 年々増加傾向	現在約 40% 年々減少傾向	

## ソウル大学

訪問日時：2008年3月21日9時50分から約2時間

対応者：Kim Kyung-Bum (Office of Admissions)、Shin Jung-cheol (Higher Education)、Rha Il-ju (Chairperson of Department of Education)、Park Hwan-bo (通訳)

大学院の拡充などに関連して、学士課程の募集定員が、1981年の約6500名から2009年の約3000名へと減少している。現在17種類の入学試験を実施している。AO入試の導入に向けた検討など、入試改革を検討中。Office of Admissionsは現在32名の教職員（フルタイムは3名）から成る。

### ☆ 2001年以前

選抜資料：国家試験（大学修学能力試験）＋個別試験（面接・論述試験）

### ☆ 2002年以降

○選抜資料：国家試験（大学修学能力試験）＋個別試験（面接・論述試験）＋内申書（総合学生生活記録）

- ・ 大学修学能力試験は、志望する学部・学科の要求に応じて、受験科目を選択する。

#### ○募集時期

- ・ 定時募集・・・募集定員の約4割。一般選抜。  
大学修学能力試験で約2倍に絞り、小論文試験（5時間！）と面接により選抜する。
- ・ 随時募集・・・募集定員の約6割
  - 地域均衡選抜（募集定員の26%）・・・2005年度から実施している。全国の高校から推薦を受ける。総合学生生活記録による1次選抜を行い、2次選抜は総合学生生活記録を中心に、面接、学習計画書と併せて判定する。従来はソウル地域からの入学者が多かったが、この制度を導入した結果、入学者の出身校数が10倍に増えた。職業系高校も対象であるが、選抜においては不利である。
  - 特技者選抜（募集定員の32%）・・・英語、数学、芸術、体育など

特定分野に異能の才を持つ者（TOEFL 高得点者、国際数学オリンピック、国際物理オリンピック、国際化学オリンピック、国際生物オリンピック、国際情報オリンピックなどの受賞者、参加者など）が対象。応募基準は、分野ごとに定めている。合否は、高校の学業成績、面接、論述試験（文系のみ）と併せて判定する。入学後の成績が良い。

## ソウル教育大学

訪問日時：2008年3月21日16時55分から約1時間

対応者：Jeon Su-hwan (教務係長) (通訳)

小学校教員養成を目的とする大学。2007年までは定時募集のみであったが、2008年から定時募集（12月～1月）と随時募集（10月）の2回に変更した。教務課長を委員長とする入試委員会が入試を担当。出題、面接は教員が担当。

## 国立ソウル大学 (Seoul National University)

URL: [http://www.snue.ac.kr/snue\\_english/](http://www.snue.ac.kr/snue_english/)

訪問日時: 2008年3月21日(金) 09:50~12:00

訪問者: 川嶋 太津夫、荻上 紘一、渡辺 達雄、林 篤裕

対応者: Kim Kyung Bum (Assistant Professor, Office of Admissions)

Shin Jung-cheol (Assistant Professor, Department of Education)

Park Hwan Bo (Archivist, Educators Without Borders Secretary)

### 1) 概要

韓国は比較的短いサイクルで入試改革が実施されており、2002年からは、大学修学能力試験(College Scholastic Ability Test, CSAT と略)と個別試験、内申書(学生簿と呼ばれる)等を総合的に判断して入学者を選抜する制度が始まった。また、近々、より自由度を高めて大学が個々に判断ができるような制度に変更する予定のようである。

韓国の入試制度は9~12月に実施される「随時募集」(推薦入試に相当)と、12~2月に実施される「定時募集」(一般入試に相当)の、大きく分けて2つの入り口が用意されている。この間の11月中旬にはCSATが実施される。

韓国の大学進学率は現在のところおよそ8割であるが、極端な少子化が進んでおり、2019年(11年後)には子供の数が半減すると予想されている。大学全入時代、学力低下、理数科離れ等、日本と同様の現象に直面した国である。このようなことから、地方の大学では既に定員割れを起こしていたり、CSATの成績を使わずに内申書だけで合格判定を行なっている大学も現われている。今後は「選抜する大学」と「募集する大学」の2種類に分かれていくであろうとのことであった。

今年のCSAT成績では、Stanine (Standard Nine の略) と呼ばれる9段階の等級が通知されたため、国内のトップ大学である国立ソウル大学では、ほとんど識別力を持たなかった。来年からは素点や標準化得点も通知されることになっている。

国立ソウル大学では、1981年に6530人であった定員を、2005年には3225名、2007年には3162名、そして、2009年には2894名に減らしている。これは、定員減による教育の質の向上を狙ったものであり、逆に大学院は定員を増やしている(4000名台)。

### 2) 随時募集と定時募集

定員の6割を入学させる随時募集には、「地域均衡選抜」と「特技者選抜」の2つがある。前者は、地域格差を考慮に入れた選抜であり、主に内申書を用いて

選抜が行なわれている。また、後者は、文系であれば外国語や IT、理系であれば数学や科学に秀でた学生を入学させることを目的に実施されており、2 段階選抜で実施される。まず、内申書や自己評価書、推薦書等の書類選考で 2 倍までに絞り、その後、文系であれば論述試験(後述)、理系であれば面接で入学者を選考している。

地域均衡選抜の対象地域内には 1400 程の高校があるが、各高校の第 1 位の学生が応募してくる選抜となっており、750 校の出身者が入学してくる。このことから判るように、特定の高校に集中することなく広範囲のエリアから入学していることが判る。

一方、残りの 4 割を選抜する定時募集も 2 段階選抜で実施される。CSAT の成績で 2 倍に絞り、その後、内申書と面接、それに論述試験(後述)で入学者を選考している。

入学者の比率としては、今年は定員内で地域均衡選抜(26%)、特技者選抜(32%)、定時募集(41%)を入学させた。これ以外に、定員外の選抜として機会均衡選抜があり、経済的選抜(30 名)、農漁村出身者選抜(90 名)、障害者選抜(20 名)を入学させた。

選抜単位ごとの入学者割合の推移としては、定時募集を 66%(2005 年)から 41%(2009 年)に減少させ、代わって、特技者選抜を 13%(2005 年)から 32%(2009 年)と増加させ、今後も特技者選抜を増やしていく予定である。これは、入学後の追跡調査の結果、特技者選抜で入学した学生の成績が良いことが挙げられる。国立ソウル大学の場合、定時募集には、CSAT 成績の上位 0.5%の学生が志願してくる。その CSAT の好成绩群から選抜した者よりは、高校時代に特技を持って熱心に勉強した学生の方が思考力に長けており、入学後も伸びるようである。ここには科学高校(理数系高校)の出身者が多く、また、一般高校出身者は、必ずしも成績がトップではないものの、特定の教科の成績が良い者で、大学への適応性も高い。考えられる理由としては、高校時代に内申書や CSAT にとらわれずに自由に勉強をしていることが影響しているのではないかとのことであった。

### 3) 論述試験

韓国で実施されている論述試験は、小論文(日本)や、エッセーテスト(アメリカ)、またバカロレア(フランス)とも異なる独自のものとことである。科目横断型の試験で、考え方や思考力を試すことに主眼が置かれている。昼休みの 1 時間半を挟んで合計で 5 時間にわたり与えられた問題(文系であれば 3 問、理系であれば 4 問)を解くものようである。今年 1 月の文系の試験では、長文の提示文を読んで、3 問の質問に答える(2500 字程度)ようになっていたようだ。問題の形式自身は事前に公表されているとのことであった。出題と採点は共にソ

ウル大学で行ない、文系用の論述試験の場合、8名の教員を招聘して作題している。また、採点は60名が4回のチェック作業を行なっている。2008年1月実施時には約4000名が受験したとのことであった。

#### 4) 入学管理本部

入試業務を担当する部署として、入学管理本部を置いている。1998年以前は入試成績としてCSATの点数をそのまま利用するだけであったので、教務課の職員1~2名という小さな組織で入試業務を担当していた。しかし、CSATの点数だけを用いた選抜で十分なのか、CSATが高校の教育を反映しているのか、また、CSAT対策だけに長けた学生が入学してきているのではないかという問題意識から、2000年に入学管理本部を設立し、事務支援を行なう「入学管理課」と研究・企画を行なう「入試選考室」を配置した。前者には事務系職員が12名(常勤)、後者には教授等の専門研究員が32名(内21人は助手)(常勤3名)が所属している。入試選考室の業務は入試制度の研究、書類評価、志願者の面接評価、入学相談、広報等である。非常勤の研究員は大学内に別のポジションがあり、繁忙期にこちらの業務を手伝うことになる。例えば対応いただいたKim先生の専門は、中世ルネッサンス文学とのことであった。入試業務はリスクが高いため敬遠されるが、教員評価時には、専門分野の研究以外に入試業務も評価の対象となる。

年間を通じて入試業務があり、現在17種類の大学入試(大学院を含めると20種類ぐらい)がある。研究大学として、一部教員に入試業務を集中させ、他の教員の面接や論述試験の採点の負荷を減らしたいと考えている。また、事務系職員にも情報化・電算化の分野で入試の専門家を育成していこうとしている。

#### 5) 将来計画

従来、政府の影響力が強く、大学の自立性が認められていなかったが、今後は「大学の自立性」を強くしていく予定である。入試についても全面的に再検討を行なっており、高校の教育課程とCSATが合致していない点、高校間格差に基づいた内申書の評価方法、内申書の信頼性等について議論を行なっている。ただ、CSATは年に1回のみの実施であり、一方、内申書は高校3年間を通した履歴であるので、この両者をどのように使い分け、どちらを重視するかは悩ましい問題である。

韓国として、入試の特性を「多様化」、「特性化」しようと考えており、国立ソウル大学では、「黙っていても良い学生が勝手に志願して来る大学」から、「素材として良い学生を探し出して教育する大学」にするという「教育効果の高さ」に重点を置いた選抜にしてはどうかと考えている。

他には、大学の競争力を高めるための多様化の一例として、アメリカにおける AO 入試に相当する自己推薦入試の導入の可能性を探っている。一方、指定校推薦制度を検討したことはあるが、導入した場合の社会的影響力の大きさから実現は難しいという結論に達したということであった。

また、志願者の出身高校を評価するための多くの資料を大学側から請求することを計画している。「スクールプロフィール」として以下のようなものを可能な限り収集し、合否判定の基礎資料にしようと考えている。現在は、「自信のある高校だけ」が提出に応じているが、今後は志願者の出身高校全部に強制的に提出してもらおうと考えている。この背景には「教育機関の情報公開法」が施行された(2008年5月)ことも追い風になっている。

#### [スクールプロフィールの例]

- ・地域の学校数、産業数
- ・教育課程
- ・CSAT の成績の分布
- ・内申書の成績分布
- ・過去の大学別の進学履歴
- ・校外試験の成績(TOEIC, TOEFL 等)



## 西江大学

1) We have analyzed your website, But, we will appreciate it if you could briefly explain your university's philosophy of admission system and various admission mechanisms and criteria. (ウェブサイトの情報を見ました。貴大学の入学選考制度の哲学及び多様な入学選考方法と基準などを簡単に説明して下さい。)

西江大学はイエス会が設立した学校でカトリックの信仰とイエス会の「他のために奉仕する生活」という教育理念を土台としている。このような学校の特徴の影響で愛と尊厳性を尊重する「人性」を持った人材を養成することが教育の目標である。外国の神父により設立された学校のため、早くから世界化に焦点を合わせ、英語講義とキャンパスのグローバル化に気を配ってきた。そして学生個々人の個性を尊重するという教育の最先端を行く学校でもある。

学生選抜もこのような教育目標と同じ脈絡で行われる。人性を持ち創意性と世界化の感覚に遅れない潜在力を持つ学生を選抜するのが入学制度の基本哲学である。

このような哲学が学生選抜選考にも表れる。随時選考で内申と修能試験という尺度以外にも世界化を先行く外国文化及び言語優秀者、あたたかいリーダーシップを発揮できる社会の模範になる者、困難な環境でも夢の実現のために努力する少年少女家長など、多様な選考を整え学生を選抜している。

全体的な入学選考を簡略に説明すると、1年に大きく2つに分けて募集している。随時選考と定時選考だが、随時選考の場合、在外国民と外国人選考、2-I と 2-II に分けられ、その中に 7 つの細分化された選考がある。論述と面接が一番大きな比重を占める 2-I 選考は修学能力試験の実施以前に最終合格者を発表するため修能成績とは関係なく選抜され、随時 2-II は修能最低学力基準が適用される。それぞれ 9 月と 11 月に行われる。

定時選考の場合、大学修学能力試験後に選抜し、内申が評価要素に含まれるが、修能試験の点数が一番大きな当落基準になる。定時は修能試験以後の 12 月に始まり、6 つの選考がある。一般選考と体の不自由な学生のための特殊教育対象者選考、農漁村選考、社会寄与者選考、専門系高校卒業生選考などが含まれる。随時と定時の選抜人数の比率は 6;4 程度である。

2) Please briefly introduce your Admission Office. (貴大学の入学事務局/入学管理本部について簡単に紹介して下さい。)

西江大学校の入学事務局はチーム制で運営される。局長を筆頭としてチーム長と 6 名のチームメンバーからなっている。入学関連業務を企画し新入生を選抜する役割だけでなく、西江大入学弘報も企画し進めている。入試説明会及び懇談会で高等学校と持続的なコミュニケーションを維持し、入試情報を伝達する役割もある。オンライン/オフライン相談だけでなく入試要綱資料集を製作して配布しており、入学選考計画樹立のための資料収集も入学チームの業務である。

3) Please provide an overview of your future plan or prospective to revise the current system if have any. (e.g. reasons for the revision, general directions, specific, measures etc.) 貴大学の現在の入学制度を修正する計画があれば、その理由及び方向を簡単に説明して下さい。

教育部から韓国大学教育協議会(以下「大教協」)に入試関連業務が移管され、韓国の新しい政府は大学校の学生選抜の自律権強化を前面に出している。従って各大学の入学事務局の役割が更に大きくなることが予想される。西江大学校も同じである。自律化が漸進的に行われ、より多様で細かい入試選考と手順に入学事務局は先駆けた準備を進めている。

今後、段階的な変化があるだろう。まず目の前の大きな変化が修能試験と内申の反映比率を自由に選択できるという点だ。2009 学年度からすぐに大きな変化を与えて実行するのは難しい。受験生に混乱を与えることがあるためだ。

今年、修能試験等級制が廃止され、再度パーセンタイルと標準点数が等級と共に記載され 修能試験の弁別力が昨年と比べ大きくなるだろう。このような理由で、今年から修能試験と内申で選抜する定時選考で受験生の負担を減らすために論述試験を廃止した。

学生の潜在力を正しく把握し選抜することは学生のためであり大学のためである。弁別力のために内申比率を下げるだけでなく、論述及び面接で弁別力を生

かすことに力点をおき、それ以外の選考別変化も企画及び段階的な変化を経ていくだろう。

4) How does your university use the CSAT (College Scholastic Ability Test) for its admission decisions and what measures other than the CSAT (e.g. recommendations, interviews, university exam, contribution etc.) does the university use for the admission decisions? (貴大学の入学選考で修能試験の点数をどのように利用していますか? 修学試験の点数以外にどんな要因を、推薦、面接、本考査、寄与などを入学選考に利用していますか?)

随時 2-I 選考の場合、修能試験は活用しない。内申(学生簿)、面接と論述が一番大きな弁別力を持つ。アルバトロス国際化選考は深層面接をするが、面接の基本言語は英語で、志願学部によってフランス語、ドイツ語、中国語など選択権も与えられる。社会統合選考では学校ではない外部機関の長からの賞や奉仕活動、リーダーシップなどが資格条件となる。随時 2-II のカトリック指導者推薦選考の場合には、カトリック神父などの推薦を受けた者のみ志願可能だ。学校生活優秀者の場合、一定等級以上の内申成績に該当する学生のみ志願が可能だ。寄与入学制と本考査はない。

5) What relationships do you find between the CSAT scores (or other measures) and learning achievement in the university (e.g. GPAs)? Do you have any empirical study data regarding this question? 修能試験

の点数(又は他の選考要因)と大学入学後の学業成就(単位など)とは関係がありますか?もしそれに関連した研究結果があれば教えて下さい。

随時選考と定時選考で入学した学生たちを区分して大学入学後に彼らの単位を調査した結果、随時選考で入学した学生の単位平均が定時選考の学生より多少高かった。随時選考は修能試験反映がないか少なく、高等学校の内申と論述及び面接に比重をおいて選抜する反面、定時は修能試験点数が選抜の主要尺度だ。

6) In what way do you think the CSAT has affected high school education?  
(修能試験は高等学校の教育にどのような影響を与えてきたと思いますか?)

修能試験は大入を目標とする殆ど全ての学生が受ける試験なので、学生同士の比較をする時に共通して活用できる大きな尺度となる。そういう点から見ると他の尺度に比べて弁別力がある。全国の学生の学力差を測ることのできる基準になるという長所がある。しかし、その長所の分だけ短所がある。「画一的」な尺度になる点である。修能試験の点数さえ高ければ大学入学が可能で、そのため多くの高等学校で修能試験の点数を上げることを目的としたカリキュラムを組んでいる。これは高等学校教育の画一化を招来し、他の才能を探して開発することより修能試験の点数を上げることに高等学校の時期を投資する学生が多いのは事実だ。学生が多様な分、修能試験という一つの大きな尺度だけではなく多様で深い大学別入試選考が必要である。

7) What challenges or issues do you think the current university entrance examination system in Korea is facing? How could those challenges or issues be addressed? (現在の韓国の大学入試制度の問題点や争点は何だと思えますか? そのような問題点や争点はどのような方式で解決できると思えますか?)

どの国でも教育は重要な問題だが、韓国ほど大学入試制度が持続的に熱い 이슈になっているケースはない。大学のネームバリューは人生の大きな部分を占める指標となり、そのため韓国の親たちは子供を少しでもいい学校に送るために命をかけている。私教育フィーバーは結局は名門大に入学されるためだ。マクロ的には国の競争力も教育により決定されるため、受験生の家族だけではなく社会的に「大学入試」は重要な問題だ。

このような大きい関心にも関わらず、教育部(現教育科学技術部)が入試制度を計画して実施する過程で多くの問題があった。まともに検証されていない計画案を採択して問題発生後、激烈な世論がおこり、修正した方式が1年後に昔と同じ状態に戻るということもあった。その例が修能試験等級制だ。1年2年も経たないうちに変更する教育制度は国民の信頼を得られずにおり、その制度の効用性についても疑問が多かった。大教協に入試関連の権限が移ったこともこのような脈絡から解決策を探り出したといえる。

私教育を助成するかもしれないという反発のために、韓国の大学は今まで大学の特性と目的に合った選抜方法での学生選抜ができなかった。入試計画の大枠は政府で定めた方式に従わなければならない、修能試験の成績と内申成績に大き

な比重において学生を選抜した。それだけではなく修能試験成績と内申の反映比率さえも大学の自由にならなかった。画一的に修能試験成績を上げるためだけの高校生のあわれな姿はこのような理由からでもあり、私教育もともに防ぐことのできていないのが今の入試制度の姿だ。

イ・ミョンバク政府が出発し大教協で今まで教育部がやってきた部分を担当することになり、大学の学生選抜権が強化された。権限と共に責任も共に持つことになるのは当然である。大学では大学の目的と個性に合った潜在力ある人材を発掘するための選考を予め準備する姿勢が必要になる。

新政府が押し出している 3 段階大入自律化政策で内申と修能試験の反映比率の自律化、修能試験科目の縮小(修能試験の深化過程を生成)、完全自律化の順序で行われ、最大限受験生たちの混乱を減らしつつ、大学が合理的な方法で受験生選抜方法を計画し知らせることが必要だ。政府で新設を支援する「入学査定官制度」はこのような脈絡で理解できる。入学事務局の役割を強化するための試みの一つだ。米国の名門大で入学査定官が活躍しているように韓国で入試査定官制を今すぐ定着させるのは無理だ。試行錯誤を経ながら大学が大きくは高等学校をよく理解し、高等学校までの教育と学生の潜在力を理解する段階を踏まなければならない、これに査定官制度が役立つこともあると思われる。

8) Based on your expertise and experience, please provide us with some suggestions on how to improve the connectedness between high school education and university education between high school education and

university entrance examination. (貴方の専門的経験から、どのように高等学校教育と大学教育との/ 高等学校教育と大学入試の間の関係を改善できますか?助言をお願いします。)

大学で優秀な人材を育てて輩出することも重要ですが、それに先立って潜在力のある優秀な学生を選抜したい気持ちを否定できない。このような状況で先に話した通り大学が選抜自律権を獲得した後、もっと学生選抜に集中し努力を傾けるべきことは明らかである。そのためには高等学校との活発な疎通が重要である。高校生を選抜する中で高等学校で「どんな」教育が「どのように」行われているのかを確実に把握されていないならばそれは大きな矛盾だ。また高等学校とその関係者、学生たちがどんなものを「実際に」要求しているのか、どんな情報を必要としているのかを知らなければならない。それを提供するのが学生を選抜しようとする大学の義務でもある。高等学校と大学校とのコミュニケーションは高等学校の教育と大学入試のもどかしい間隙をなくす第一歩になるだろう。西江大学校入学事務局はこれを直視し実践してきており、今後も更に強化する予定だ。今年も変わらず3月から高校教師懇談会と入試説明会を準備して実施中だ。



# 忠南大学

申 昌浩

## 1. 国立忠清大学校の概要

1952年道立忠南大学校と設立され、1957年に大学院を設置した。1962年忠北大学を統合し、国立忠清大学校に改編したのち、1963年再び本来の国立忠南大学校に再改編した。大学の理念としては、国家と人類の発展に必要な学術の深奥な理論とその応用方法を教授・研究巣つと同時に創意・開発・奉仕精神が豊富な指導的な人格を備えた人材を養成することを目標としている。2008年年度現在 8 大学院、2 専門大学院、12 単科大学、20 学部（系列） 2 学科群、55 学科、37 専攻で構成されており、903 名(2008 年)の専任教員と 2 6,588 名の学生が在籍している。

大学の所在地：大田広域市儒城区弓洞 220

TEL:042-821-5026

Website: <http://cnu.ac.kr/>

## 2. 訪問日時

訪問日：2008年3月25日（火曜日） 訪問時間：10:30 – 12:00 am

## 3. 訪問者、インタビュー対応者

訪問者：川嶋太津夫（神戸大学）、鄭仁星（国際基督教大学）、申昌浩（京都精華大学）

インタビュー対応者：入学管理課員：Mr. Joonseo Ku 入学管理課長：Song Yun-ju

## 4. 忠南大学校のアドミッションポリシー（入学者選抜の基本方針）

- ・ 教育目標は学問単位の特性に符号する素質と適性を持っている学生の選抜。
- ・ 学生の選択権の保証を通じて7次教育課程の趣旨に付合する典型の実施。
- ・ 高等学校教育正常化に寄与する入試制度の実現。

## 5. アドミッション・オフィスあるいは同等組織の概要

行政機関の学生処の中に学生支援課と入学管理課が設けられており、入学管理課の入学管理チームは、課長1名、職員3名、非正規職員2名の計6名（2007年）のスタッフが入試教務に携わっている。

入学管理チームの業務内容は、

- ① 大学入学（編入学）基本計画樹立
- ② 大学入学（編入学）典型管理計画及び入試管理
- ③ 大学院入学典型指導監督
- ④ 大学入学典型制度広報関連事項
- ⑤ 入学相談に関する事項
- ⑥ 大学（大学院）予算編成及び執行
- ⑦ 大学入学典型統計管理に関する事項などである。

## 6. 入試方式・方法

2008年度忠南大学校は、定員は3,900名程度で、定員外に420名（11%）程度を新たな募集枠を設けている。「定試」と「随試」の比重は5対5であるが、実際は「随試」では定員の50%を確保できない。「随試」で確保できなかった定員を「定試」の募集枠に上載して選抜し、入学させている現状である。「定試」典型では、“가 (Ka)”群と“나 (Na)”群の2つの典型を行っており、「随試」には異なる形態の典型を多く設けて実施している。

「定試」定員は、一般典型の定員に2,312名を設けており、“가 (Ka)”群の定員1,614名と“나 (Na)”群の定員698名に分けて学生を募集している。

「随試2学期」の募集は、特別典型の定員内（専門分野優秀者（特技者）、国家貢献者、善孝行及び社会奉仕者、社会的配慮対象者、島嶼僻地出身者、外国高校課程履修者）と定員外（専門系高校出身者（一般学生、地域協力工業系高校長推薦者）、農漁村学生、特殊教育対象者）と一般典型がある。

その「随試2学期」の募集人員は1,946名で「専門分野優秀者（特技者）が54名、国家貢献者が25名、善孝行及び社会奉仕者53名、社会的配慮対象者が32名、島嶼僻地出身者が50名、外国高校課程履修者が50名」と定員外「専門系高校出身者（一般学生が178名、地域協力工業系高校長推薦者が17名）、農漁村学生が156名、特殊教育対象者10名」となっている。その他に、体育特技者募集定員が35名ある。

## 7.2008年度入試「定試」と「随試」における共通テストの利用方法と比重

\*2009年度の「定試」と「随試」における共通テストの利用方法と比重が変更されている。

### 7-1. 定試 “가 (Ka)”

#### 7-1-1. 群の選抜基準

区分	典型方法
人文系	大学修学能力試験（250点）＋学生簿・教科（200点）＋非教科

自然系	(50点) に従い募集人員の100%選抜
音楽系	大学修学能力試験(20点) + 学生簿・教科(90点) + 非教科(10点) + 実技成績(350点) に従い募集人員の100%選抜

7-1-2. 定試“가 (Ka)” 群定試の典型要素別反映比率

典型類型		選抜比率	大学修学能力試験	学校生活記録簿		実技 考 試	典型 総 点
				教科成績	非教科領域 (出欠情 況)		
一般 典型	人文・自然 系	100%	50%	40%	10%		500 点
	音楽系	100%	10%	18%	2%	70%	500 点

7-1-3. 定試“가 (Ka) 群”の大学修学能力試験反映(領域別反映点数及び比率)

区分	領域別反映点数(反映比率)							反映 点数
	言語	数理領域		外国語	探求領域			
		가 (Ka) 型	나 (Na) 型		社会/ 職業	科学/ 職業	社会/ 科学/ 職業	
人文系	80点 (32%) )		40点 (16%) )	80点 (32%) )	50点 (20%) )			250点 (100%) )
自然系	40点 (16%) )	80点 (32%)		80点 (32%) %		50点 (20%) )		250点 (100%) )
音楽系	20点 (40%) )			20点 (40%) )			10点 (20%) )	50点 (100%) )

7-2. 定試“나 (Na)” 群

7-2-1. 定試“나 (Na)” 群の選抜基準

区分	典型方法
人文系 自然系	大学修学能力試験(200点) + 学生簿・教科(290点) + 非教科(10点) に従い募集人員の100%選抜
芸能 体系系	美術系 大学修学能力試験(100点) + 学生簿・教科(190点) + 非教科(10点) + 実技成績(250点) に従い募集人員の100%選抜

舞踊系	大学修学能力試験（50点）＋学生簿・教科（190点）＋非教科（10点）＋実技成績（250点）に従い募集人員の100%選抜
体育系	<p>*2段階典型</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1段階（実技対象者）：大学修学能力試験（150点）に従い募集人員の300%選抜</li> <li>・2段階（実技対象者）：大学修学能力試験（150点）＋学生簿・教科（190点）＋非教科（10点）＋実技成績（150点）に従い募集人員の100%選抜</li> </ul>

7-2-2. 定試“나 (Na)”群の典型要素別反映比率

典型類型	選抜比率	大学修学能力試験	学校生活記録簿		実技考試	典型総点
			教科成績	非教科領域（出欠情況）		
人文系・自然系	100%	40%	58%	2%		500%
美術系	100%	20%	38%	2%	40%	500%
舞踊系	100%	10%	38%	2%	50%	500%
体育系	1段階	300%	100%			150%
	2段階	100%	30%	38%	2%	30%

7-2-3. 定試“나 (Na)”群の大学修学能力試験反映（領域別反映点数及び比率）

区分	領域別反映点数（反映比率）							反映点数
	言語	数理領域		外国語	探求領域			
		가 (Ka) 型	나 (Na) 型		社会/職業	科学/職業	社会/科学/職業	
人文系	64点 (32%)		32点 (16%)	64点 (32%)	40点 (20%)			200点 (100%)
自然系	32点 (16%)	64点 (32%)		64点 (32%)		40点 (20%)		200点 (100%)
体育系	60点			60点			30点	150点



			況)				
体育特技者	100%	42%	8%		50%		500点
外国高校課程履修者	100%			100%			100点
地域協力工業系高校 長推薦者	100%	70%	10%	20%			500点
一般典型、専門系高校出身者（一般学生）、専門分野優秀者（体育特技者除外）、善孝行及び社会奉仕者、社会的配慮対象者、島嶼僻地出身者、国家貢献者、特殊教育対象者、農漁村学生	100%	90%	10%			最低 学力 基準	500点

#### 8. 共通テストあるいは入試成績と入学後の成績との関係

共通テストを経て大学に入学し、在学中の学習意欲と成績が高い学生たちは、ギリギリの合格点数で合格をした学生たちである。彼らは第一志望校として忠南大学校を考えて受験した学生たちであり、合格した喜びから積極的に勉学に取り組んでおり、愛校精神も高い。一方、高い点数で合格した学生は、自分の学力レベル（共通テストの成績）を考えると地方の大学に在籍していることに不満を持っている。本来なら共通テストの成績を持ってソウルの名門大学に合学し、そこで勉強しているはずであるという否定的な考えから大学に入学後それほど勉学に力が入っていない。

#### 9. 共通テストが高校教育に及ぼしている影響

#### 10. 大学入試の問題点（個々の大学大学および国の課題）

地方に位置する国立大学校である忠南大学校は、国立でありながら地方に位置するという点の不利さあるように見受けられた。政治・経済・文化・教育などすべてことがソウルに一極集中している状況から、地方の大学校として学生募集に苦勞している。受験生たちは、同じレベルであれば地方の大学より、ソウルにある大学を志向している。地方の大学に合格したにもかかわらずソウル

の大学へ新たに出願をし、合格すると地方の大学を辞退する学生が多い。

これらの現状から忠南大学校では一次合格者だけで定員を満たせることが出来ないために追加合格を行っている。合格辞退者の分を補うため忠南大学校では3回もの追加合格者を出している。その結果、一次合格者たちの入学後における学習意欲の低下の問題とともに、追加合格した学生たちの基礎学力レベルが低いことによる問題も深刻である。

# 高麗大学

申 昌浩

## 1. 高麗大学校 (Korea University) の概要

1905年、韓国人の手によって初めて設立された近代的な大学（普成専門學校）として開校し、1946年に私立総合大学として設立認可を受けている。高麗大学校は、ソウル市内に安岩キャンパス（Anam main campus）と忠清南道に世宗（Seochang）キャンパスの2つのキャンパスを持っている。2008年度現在18大学院、19単科大学及び学部と11の付属機関、105付属研究機関及び3つの付設病院があり、48か国400余大学と提携協力を結んでおり、1,044名(2003年)の専任教員と3,7719名(2003年)の学生が在籍しているマンモス大学である。

高麗大学校は、2005年度韓国大学教育協議会の大学評価1位を受けており、2007年度中央日報が行った大学評価の評判度及び社会進出度部分で総合1位を得ており、高い評価と認知度を得ている私立名門大学として。

大学の所在地：高麗大学校安岩キャンパス(ソウル特別市城北区安岩洞5街1)

TEL:02-3290-1251~9

Website: <http://www.korea.edu/>

## 2. 訪問日時

訪問日：2008年3月24日（月曜日） 訪問時間：2:30 – 4:00 pm

## 3. 訪問者、インタビュー対応者

訪問者：川嶋太津夫（神戸大学）、鄭仁星（国際基督教大学）、申昌浩（京都精華大学）

インタビュー対応者：入学処長 徐 泰烈（Prof. Seo Tae-yeol）

## 4. 大学のアドミッションポリシー（入学者選抜の基本方針）

「2009学年度高麗大学の学生選抜基本方向と入試の特徴」が、大学入学処のホームページに以下のような内容が掲載されている。

- ・ 基本原則は学生選抜の多様化を通じて優秀な人材を選抜する。
- ・ 大学の社会的債務性を先導する大学として、創意力・潜在力・国際競争力など時代の要求を積極的に反映し、学校教育の正常化に寄与するために既存の典型の内容を補完して必要な典型を新設する。
- ・ 公教育の正常化のために随試2学期に学生簿優秀者典型（随試2-1）を新



設し、教育機会が相対的に不足している社会的弱者層の高等教育への接近性を高めるため教育均等特別典型（2-2）を新設する。

- ・ 随試対定試募集人員の比率の調整（随試 53. 5%、定試 46. 5%）し、典型方法の様々な経路を通じて多様な学生を選抜する道を模索する。
- ・ 随試 2 学期を分割（2-1、2-2）し、2 つの募集期間の典型間の重複志願を許す。
- ・ 随時 2 学期の一般典型などから受験生と学父母たちの入試負担を軽減するために段階別典型を拡大し、典型による論述考試を縮小し、また定試募集の修能優先選抜と自然系一般典型から論述を廃止する。
- ・ 受験生たちが効果的に高麗大学入試を準備するように論述模擬考試、入学説明会、論述特講など入試に関する情報を最大提供する。
- ・ 大学入試の自律化時代に合う入学体制の先進かを追求し、特別典型の教育機会均等、農漁村学生などに入学査定官制度を導入する。

#### 5. アドミッション・オフィスあるいは同等組織の概要

行政部署として入学処が設けられており、そこに入学管理チームがあり、部長（チーム調）1 名、課長 1 名、職員 7 名、非専任 1 名の計 10 名のスタッフが入試業務を担当している。

入学管理チームの業務内容は、

- ①大入典型制度の制作開発に関する事項
- ②大入典型の計画樹立及び管理
- ③大入典型の出題管理に関する事項
- ④入試広報に関する事項
- ⑤入試関連の諸委員会の事務管理
- ⑥競試大会及び認証試験の関する事項
- ⑦その他などである。

現段階においては、高麗大学校入学処には、定試試験はもちろん随試にも力を注いでいる。なにより、今年度からの入学査定官制度導入に対応できる AO の専門スタッフが状況である。入学処では、至急専門スタッフの確保する予定としている。

#### 6. 2008 年度安岩キャンパス（Anam main campus）の入試方式・方法

高麗大学校では、三つある「定試」“가 (Ka)” 群、“나 (Na)” 群、“다 (Da)” 群の中、「定試」の“가 (Ka)” 群と「随試 2 学期」のみを行っている。随試試験の中、査定官による人物評価（面接や学生生活簿など）による選抜比重を高く設定し、優秀な学生を確保する意欲を見せていた。

随試では、修能試験の成績を反映していないことはむしろ将来的には修能試験を入試の資格に活用したいと考えている。

#### 6-1、定試

「定試」は、一般典型“가 (Ka)”群と特別典型“가 (Ka)”群（農漁村型、専門系、特殊教育）を行っている。

「定試」による入学定員は3,862名で、その内一般典型“가 (Ka)”群は2,466名、特別典型“가 (Ka)”群の農漁村型が154名、専門系193名、特殊教育38名である。

（入学定員及び定試募集“가 (Ka)”群の最終募集人員は「随時」募集未登録などの事由で変更もある）

なお、願書の受付はインターネットのみで行っており、applybank と uway の2つの願書受付代行会社を使用している。

#### 6-2、「随試2学期」

昨年2008学年度の「随試」は、1回行っており、選抜定員は1,396名である。

「随試」の一般典型が1,111名で、特別典型（グローバル人材110名、Global KU50名、科学英才60名、社会的配慮対象者20名、体育特技者45名）が285名である。

### 7、2008年度安岩キャンパスの「定試」と「随試」における共通テストの利用方法と比重

\*2009年度の「定試」と「随試」における共通テストの利用方法と比重が大幅に変更されている。

#### 7-1、定試“가 (Ka)”群の典型要素別反映比率

選抜 類型	募集 単位 系列	反映比率（点数）				
		学校生活記録簿	大学修学能力試験	論述	実技	総点
優先 選抜	人文 自然		100%（400）	同点者 選抜基 準		100% （400）
一般 選抜	人文 自然	50%（500）	40%（400）	10% （100）		100% （1,000）
	体能 芸能	30%（300）	40%（400）		30% （300）	100% （1,000）

7-2、定試特別典型“가 (Ka)”群 (農漁村型、専門系、特殊教育)

区分	大学修学能力試験	学校生活記録簿	計
反映比率	60%	40%	100%

7-3、随試一般典型 (定員 1, 111 名)

区分	学校生活記録簿		論述	合計
	教科	非教科		
優先選抜	18%	2%	80%	100%
一般選抜	45%	5%	50%	100%

7-4、特別典型グローバル人材 (定員 110 名)

典型要素	反映比率	備考
書類	60%	一括典型として書類評価及び論述点数を合算して合格者を選抜
論述	40%	

7-5、特別典型 Global KU (定員 50 名)

典型要素	書類	高等学校成績	合計
反映比率	50%	50%	100%

7-6、特別典型科学英才 (定員 60 名)

典型要素	学校生活記録簿	書類	面接	合計
反映比率	30%	20%	50%	100%

7-7、特別典型社会的配慮対象者 (定員 20 名)

典型要素	学校生活記録簿	書類	合計
反映比率	60%	40%	100%

7-8、特別典型体育特技者 (定員 45 名)

典型要素	1 段階		2 段階	合計
	学校生活記録簿	書類 (特技)	面接	
反映比率	20%	30%	50%	100%

## 8. 共通テストあるいは入試成績と入学後の成績との関係

高麗大学は元々レベルの大学受験生が受験する名門の大学のため、入学後の勉学面には大きな問題はないが、特別典型「社会的配慮対象者特別典型や教育均等など特別典型（新設）」によって受け入れた学生たちの基礎学力を向上させることには大変苦勞をしている。

他方の問題では、高校学力の平準化により、自然（理工系）系列の学生たちの数学・物理の学力が低いため高麗大学では単科大学別に入学前サポートを行っている。

## 9. 共通テストが高校教育に及ぼしている影響

## 10. 大学入試の問題点（個々の大学大学および国の課題）

韓国政府の入試政策は、いわゆる教育の社会的均等を保証し、公教育の正常化を実現しようとしている。政府入試政策としては高等教育を受けることで大学の進学が出来る環境を作りたいと考えている。それは国民の入試に関連した巨額の私教育費用の負担をなくした形の入試制度を求めている。近年その解決策の一つとして入学査定官制度の導入を目指している。入学査定官制度を導入することで、大学修学能力試験の負担を少なくし、修能試験の結果を大学志願の最小資格条件とすることが目的である。なお、修学能力試験科目から英語を外し、グローバル基準の英語試験制度（いわゆる、韓国的 TOEFL）を導入することも検討している。

## 11. 高大接続上の問題点

## 12. その他

ソウル市内に位置する高麗大学校ではかなり有利な状況を備えている大学として、独自の入試体制を考えている。ソウル所在の私立名門大学として、かなり優秀な大学受験者募集に戦略的（グローバル人材典型・Global KU など）に取り組んでいる。高麗大学校では入試ポリシーに関しては、その内容をすでに新聞紙上に発表している。

なお、学校の教育レベルも高い大学であることはもちろん、多くの企業や個人からの寄付金によって大学の設備も充実している。今のところ、広範囲に及ぶIT 設備とレベルの高さに関しては日本の大学の水準を遙かに超えているといえる。

報道資料 2008.3.10	高麗大学校 KOREA UNIVERSITY
	入学処 TEL : 20.3290.1250

---

## 高麗大学校 2009 学年度 典型（入試 TYPE）計画

---

### 1. 2009 学年度 高麗大学校の学生先発基本方向

- ◆ 入学試験の安定性維持：予測可能な入試予告制維持
- ◆ 大学の社会的責務制確保：先導大学として社会的要求反映（典型新設）
- ◆ 学校教育正常化への寄与：学生部優秀者典型実施
- ◆ 大入自律化と入学体制の先進化追求：入学査定官制導入
- ◆ 入試負担の軽減：論述の廃止、段階別典型拡大
- ◆ 優秀学生先発と優秀人材の育成：創意力、潜在力、国際競争力など時代的要求反映
- ◆ 入試関連情報提供拡大：模擬論述考試、入試説明会、論述特講など入試関連の多様な情報提供

### 2. 2008 学年度対比 2009 学年度と異なる点

- ◆ 2009 学年度の典型計画は大学修能試験の基本体制が再び変更したことを反

映し、樹立されたが入試政策の頻繁な変化が受験生、学夫母、教師の混乱をもたらす点を考慮して入試政策の基本枠を維持しつつ 2008 学年度典型試行後改善事項を中心にその変化の内容を最小化

- ◆ 定時募集の自然系一般典型において論述を廃止、その他人文系列募集単位においては従前と同様論述は進行し、論述形式の既存の形式はそのまま維持。
- ◆ 公教育の正常化のために随時 2 学期に学生優秀者典型 (随時 2-1) を新設し、教育の機会が相対的に不足している社会的弱者層の高等教育に対する接近性を高めるために教育機会均等特別典型 (随時 2-2) を新設

- ◆ またいくつかの特別典型（教育機会均等、農漁村学生など）で入学査定官制度を導入して活用する計画
- ◆ 随時対定時募集人員比率を調整（随時 53.5%、定時 46.5%）して典型方法のいくつかの経路を通じて多様な学生を先発する道を模索
- ◆ 随時2学期の一般典型などで段階別典型を拡大して受験生たちの現実的な準備時間と経済的な負担を軽減出来るように考慮
- ◆ 随時2学期を分割して（2-1、2-2）二つの募集期間の典型間に複数志願を許容して受験生たちが入試を準備するための負担を最小化
- ◆ 入学願書受付時自己評価書を作成して参考資料として活用（特別典型該当）

\*その他：名称変更（Global KU → World KU）

募集時期変更（World KU 特別典型：随時2学期 → 随時1学期）

### 3. 典型要素別反映方法

#### 1. 学校生活記録簿

- ◆ 随時2学期募集の学生部優秀者典型においては学校生活記録簿を反映（教科90%、比較科及びその他10%）して学生を募集します。
- ◆ 学校生活記録簿反映比率は随時2学期募集一般典型で40%を反映します。
- ◆ 定時募集においては系列別で若干の差異があるけれど大概40～50%を反映します。
- ◆ 教科成績は国語、外国語(英語)、数学、社会（人文系）、科学（自然系）教科目を反映します。

#### 2. 修学能力試験

- ◆ 修能反映方法は、維持募集と定時募集によって反映方法が異なります。  
随時2学期募集では各募集単位が定める最低学力基準（修能領域別一定等級以上）として活用します。  
一方では定時募集においては修能領域別等級と標準点数、百分率などを反映します。



- ◆ 第2外国語/漢文の換算反映はしないで探求領域3科目中一科目に代替することが出来ます。

### 3. 論述考試及び面接考試

- ◆ 随時2 学期募集一般典型では論述考試反映率を前年度の50%に比べ60%に変化があります。
- ◆ 定時募集においては人文系募集単位志願者たちだけ論述考試実施し、自然系は廃止します。
- ◆ 随時及び定時の論述考試の出題傾向と形式は既存の論述考試体制を維持します。

ただし、医科大学の面接に10%を反映し師範大学は教職適任性面接に10%を反映します。

### 4. 募集時期別典型類型

	随時1 学期募集	随時2-1 募集	随時2-2 募集	定時募集
定員内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際学部典型</li> <li>・World Ku 典型</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生簿優秀者典型</li> <li>・科学英罪典型</li> <li>・体育特技者典型</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般典型 (優先先発包含)</li> <li>・グローバル人材典型</li> <li>・社会的配慮対象者典型</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般典型 (優先先発包含)</li> </ul>
定員外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在外国民典型</li> <li>・韓民族典型</li> <li>・外国人典型</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在外国民典型</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育均等典型</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農漁村学生</li> <li>・特殊教育対象者</li> <li>・専門系高校卒業生</li> </ul>

## 5. 典型別主要事項

### ア、 随時 1 学期募集

典型	内容
国際学部特別典型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 40 名以内</li> <li>・ 志願資格：TOEFL, TEPS, AP 中一定成績以上提出</li> <li>・ 1 段階（60%）：TOEFL, TEPS, AP + 学校生活記録簿など</li> <li>・ 2 段階（40%）：1 段階 + 英語面接（英語 Essay 包含）</li> <li>＊ AP：3 科目</li> </ul>
World KU 典型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 50 名以内（国際学部 10 名包含）</li> <li>・ 志願資格：外国高等学校全課程履修者</li> <li>・ 書類 50% + 高等学校成績 50%</li> <li>＊ 典型名変更：‘Global KU’ → ‘World KU’</li> <li>＊ 募集時期変更：随時 2 学期 → 随時 1 学期</li> <li>＊ SAT など該当国家大入資格考試成績保有者</li> </ul>
在外国民特別典型 （定員外）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般典型、グローバル典型</li> <li>・ 英語試験 TOEFL に代替</li> <li>＊ 国際学部特別典型と重複志願許容</li> </ul>
韓民族子孫特別典型 （定員外）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 名内外</li> <li>・ 志願資格：中国（東北 3 省）、ロシア（サハリン）、ウズベキスタン、 ウクライナに居住している高麗人、朝鮮族</li> <li>・ 1 段階書類、2 段階面接</li> <li>・ 募集時期：随時 2 学期 → 随時 1 学期</li> </ul>
外国人特別典型 （定員外）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定員制限がない個別修学能力を評価して選抜</li> <li>・ 志願資格：父母がすべて外国人の外国人</li> <li>・ 1 段階書類、2 段階面接</li> <li>・ 随時 1 学期、随時 2 学期に 2 学期入学生、1 学期入学生を各各選抜</li> </ul>

イ、 随時 2 学期募集 (2-1)

典型	内容
学生部 優秀者典 型 (新設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 350 名内外選抜</li> <li>・ 2008 年 2 月以後卒業 (予定) 者                      (国内正規高等学校は高校卒業学力認定学校に限る、専門系高校履修者、一般高等学校の専門系改訂履修者及び検定考試出身者は除外)</li> <li>・ 学生簿 (教科) 90% + 書類 (学生部比較科及び自己評価書) 10%</li> <li>・ 最低学力基準 : 4 つ領域平均 2 等級以内</li> </ul>
科学英才 特別典型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 60 名以内</li> <li>・ 科学に関する専門教科履修者</li> <li>・ 1 段階 : 学生部 (教科) 30% + 書類 20%、3 倍数選抜</li> <li>・ 2 段階 : 深層面接 50%</li> </ul>
体育特技 者 特別典型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行維持</li> </ul>

随時 2 学期募集 (2-2)

典型	内 容
一般典型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1,380 名以内選抜</li> <li>・ 1 段階 : 学生部 (教科) で 15 倍数選抜</li> <li>・ 2 段階 : 一優先選抜 (50%) : 論述 100%                      * 最低学力基準 : 人文系 (言、数、外 1 等級)                      自然系 (数、外 1 等級)                      医大は数、外包含三つ領域 1 等級)</li> </ul>

	<p>—一般選抜（優先選抜以後人員）：論述 60%＋学生部（教科） 40%</p> <p>*最低学力基準：修能四つ領域</p>
<p>グローバル人材 特別典型</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 110 名以内（国際学部 10 名包含）</li> <li>・ 志願資格：TOEFL, TEPS, AP（3 科目）中一定の成績以上提出者</li> <li>・ 書類（TOEFL, TEPS, AP、学生部、自己評価書など） 60%＋論述 40%</li> <li>*一般典型論述と同一</li> </ul>

典型	内容
社会的配慮対象者 特別典型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30名以内</li> <li>・ 独立有功者及び、国家有功者、僻奥地勤務公務員子女、20年以上長期勤続軍部仕官（准尉包含）子女</li> <li>・ 1段階：学生部（教科）で2倍数選抜</li> <li>・ 2段階：学生部教科（60%）＋種類評価及び面接（40%）</li> <li>・ 最低学力基準：修能4つ領域中2つ領域2等級以内</li> </ul>
教育均等など 特別典型 （新設）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30名以内</li> <li>・ 志願資格：国内高等学校卒業（予定）者または関連法令によってこれと同等の学歴があると認定された者中基礎生活受給者および次上位階層本人またはその子女（少年少女家長包含）または児童福祉施設出身者</li> <li>・ 書類評価及び面接（100%）－入学査定官活用</li> <li>・ 最低学力基準：修能4つ領域中2つ領域2等級以内</li> </ul>

#### 4. 定時募集

典型	内容					
一般典型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1,800名以内</li> <li>・ 優先選抜（50%）：修能100% * 論述考試なし。同点者選抜（修能外国語－数理－言語－探求順）</li> <li>・ 一般選抜：優先選抜以後人員</li> </ul>					
		修能	学生部	論述	面接	実技
	人文系	50%	40%	10%		
	自然系	50%	50%			
	医科大学	50%	40%		10%	
	師範大学	50%	30%	10%	10%	

(人文系)				(適任性)	
師範大学 (自然系)	50%	40%		10% (適任性)	
芸能系	40%	30%			30%
体芸系	35%	25%		10% (適任性)	30%

\* 学生部教科 (国、英、数、社、科、教科群) 反映

\* 探求領域 3 科目中一科目第 2 外国語/漢文に代替可能 (加算反映廃止)

典型	内容	
特別典型	農漁村 学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学定員の最大 4% (154 名以内)</li> <li>・ 1 段階：修能 60% + 学生部 (全科目) 40%</li> <li>・ 2 段階：1 段階 + 書類及び面接 * 20%</li> <li>  * 入学査定官活用</li> </ul>
	専門系高 校 卒業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学定員最大 1% (38 名以内)</li> <li>・ 修能 60% + 学生部 (全科目) 40%</li> <li>・ 最低学力基準：修能 4 つ領域中 2 つ領域 2 等級以内</li> </ul>
	特殊教育 対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修能 80% + 面接 20% (38 名以内)</li> <li>・ 志願資格：障害等級 1~3 等級</li> <li>・ 最低学力基準：修能 4 つ領域中 2 つ領域 2 等級以内</li> </ul>

朝鮮大学

(<http://www.chosun.ac.kr>)

Insung Jung

**Interviewees:**

Associate Dean of Admission Office (Mr. Cho, Tae-Hoon)

Leader of Admission Management Team

## Dean of Admission Office (Prof. Park, Yong-Hyun)

**Admission Office:**

- It consists of 2 teams – Admission Management and Admission Policy. The Admission Management Team is responsible for new admission, transfer, and analysis of admission results. The Admission Policy team develops admission plans, improves admission systems, and advertises university admissions.
- Each team consists of 4 members including a team leader.

**Annual Admission Quota:** 5,206 students including Beyond Quota students from Vocational/Technical HS and HS in agricultural or fishing villages.

**Three Ways of selecting students:** Occasional admission II-1, Occasional admission II-2, and Regular admission.

- Occasional admission II-1 is mainly based on HS transcript, Interview, recommendation and/or working experience.
- Occasional admission II-2 uses CSAT score as a basis to check the minimum requirement and focuses mainly on interview results, performance and/or awards record.
- Regular admission uses mainly CSAT scores. Sometimes, interviews, performances, and/or HS transcript are used.

Last year, the Univ. planed to select 68 % from Occasional admission and 32% from Regular admission. However, it could not secure enough number of students from Occasional admission and thus had to select 50% from Occasional and 50% from Regular admission. Usually low level universities prefer to secure good students at the early stage of admission adopting Occasional admission methods but often fail (Occasional admission occurs



either in July, September or October and Regular admission in December). Thus they have to fill up the remaining quota from Regular admission.

**Why local students do not come to local universities?** Three reasons were presented. First, Korean parents and students have a strong will to get higher education from a university in Metropolitan area. (A Korean old saying, Send your horses to the Jeju Island and your children to Seoul). Second, parents can afford sending their children to the Metropolitan area for higher education. Third, companies look for graduates of universities located in the Metropolitan area. (And the Eastern part of Korea where the Chosun University is located has limited capacity to absorb graduates of local universities whereas the Western part has relatively better employment conditions (more companies and factories). --- It implicates that even if local universities hire high quality professors, develop good programs and offer full scholarships, it is not easy to attract good students.

**Number of applicants decreasing rapidly** – Over the past few years, the number of CSAT takers have decreased from around 900,000 to 600,000 (to be exact, 584,890 in 2007; this number includes over 120,000 repeaters of college entrance exam. The number of repeaters have been decreasing over the years) At the moment, admission quota of 4 yr university is 360,000 and that 2 yr college 300,000. These figures indicate admission quotas combining 4 yr and 2 yr institutions exceed the number of CSAT takers.

**Support for low performers:** The Chosun University can barely fill up its admission quota but other universities in Gwangju city such as Honam, Dongsin and Gwangju cannot secure enough number of students. (Chosun has good medical and dental schools. These schools attract more students than other schools. Its college of engineering has contributed to the development of Korean industry but now less and less students want to study engineering. Despite great investment in equipment and facilities, college of engineering does not attract many students) Chosun University supports low performers through its lifelong advising system in which each faculty provides continuous academic advising and extra tutorials. In case of college of engineering, remedial classes especially in math and sciences are offered during Summer and Winter vacations.

**Entrance exam and University performance.** The results of admission data between 2004 and 2007 reveal that in 2004, students selected from Occasional admission (based on HS transcript) performed better than those selected based on CSAT scores; but since then, CSAT scores have shown higher correlation with university performance than HS transcript (that is students from Regular admission perform better).

**Problems with current admission system:** Government should deregulate the admission related policies. Each university should be able to decide own admission policies to achieve its specific mission.

---

**The results summaries above show that:**

- 1) The Chosun University, despite its huge investment in education, scholarship and school environment, has been losing its competitiveness compared with universities in Metropolitan area. This situation does not seem to be getting better in the future.
- 2) As the Korean government deregulates university Admission policies, local universities will be able to develop more flexible and open admission policies. With more power over its own admission policy, a local university will be able to work closely together with local high schools to improve quality of education both at HS and University levels and to secure higher achievers. However these new policies won't help attract enough number of good students due to the decreasing number of students and the preference toward Metropolitan universities. The development of local industries/economies and university M&A need to be considered as well.

## 朝鮮大学入学管理所長からの回答

1. ウェブサイトの情報を見ました。貴大学の入学選考制度の哲学及び多様な入学選考方式と基準などを簡単に説明して下さい。

-当大学の建学理念である個性教育、生産教育、英才教育に従い、学生の発展可能性を一番高い価値として学生を選抜しています。

-当大学の主要入学選考方式は以下の通りです。

1) 一般学生選考；一般的で標準化された学生を選抜します。

2) 自己推薦者、特技者、晩学徒/主婦、就業経歴者、看護学科男子学生；学生の潜在力と発展可能性を評価し選抜します。

3) 独立有功者/国家有功者、低所得層、特殊教育対象者；疎外階層を支援し大学としての社会的責務を果たすために選抜する選考制度です。

2. 貴大学の入学事務局/入学管理本部について簡単に紹介してください。

-入学事務局の組織は入学事務局局長、入学部部長、入学管理チーム、入学政策チームなどから構成されています。

-入学管理チームはチーム長を含み4名の職員から構成されており、入学政策チームもチーム長を含む4名の職員で構成されています。

-入学管理チームでは新入学、編入学選考業務と新入学・編入学の結果分析などの業務を主として行い、入学政策チームでは入学政策の樹立、制度改善、入試弘報などの業務を主に行っています。

3. 貴大学の現在の入学制度を修正する計画があればその理由及び方向を簡単に説明してください。

-学校生活記録簿と修能成績、面接などで固定されている選考方式から脱皮するために、学生の潜在能力と就業能力を測定できる適性評価を2010学年度から導入するために研究中です。

4. 貴大学の入学選考では修能試験の点数をどのように利用していますか？修能点数以外にどのような要因(推薦、面接、本考査、寄与など)を入学選考に利用していますか？

-随時2-1 募集は修能成績を選考資料として活用せず、学校生活記録簿の成績、面接考査、推薦書、企業の潜在力などを反映します。

-随時2-2 募集は修能成績等級を最低学力基準としてのみ活用し、面接考査、実技考査、授賞実績などを反映します。

-定時募集で「カ」群と「タ」群は修能成績(パーセンタイル)を基本選考要素

として活用し、募集単位の特性により追加で面接審査や実技審査を活用したりします。「ナ」群の場合には修能成績(パーセンタイル)と学校生活記録簿の成績を基本選考要素として活用し、募集単位の特性により追加で面接審査や実技審査を活用します。

5. 修能点数(又は他の選考要因)と大学入学後の学業成就(単位など)とは関係がありますか?もしそれに関連した研究結果があれば教えてください。

-2004~2007 学年度入学者の大学入学後の学業成就度を分析した結果、2004 学年度随時 2 学期入学者の場合、学校生活記録簿の成績を中心に選抜した学生が、修能成績を中心に選抜した学生より学業成就度が高かったが、2005~2007 学年度入学者は修能成績中心に選抜した学生が学校生活記録簿の成績中心に選抜した学生より学業成就度が高かったです。

6. 修能が高等学校教育にどのような影響を及ぼしてきたと思いますか?

-大学入試の手段として受験生を同一尺度で比較するために修能試験を実施するにおいて、個性と能力が多様な学生に対して画一的な教育を強要することで、創意的な人材の養成が難しくなってきたと見えています。

7. 現在の韓国の大学入試制度の問題点や争点は何だと思えますか?その問題点や争点はどのような方法で解決できると思えますか?

-百年先を見た教育政策、特に大学入試政策が政権が交代するたびに変更され、自律化が遅延することにより、政策の連続性の不在だけでなく学生と保護者、大学の混乱を加重させてきたと思えます。

-これに対する解決策としては多様な選考方法を検討し、大学の設立目的及び特性に合った人材を選抜し教育ができるように大学に大学入試の自律権を大幅に委譲するべきだと思えます。

8. 貴方の専門的な経験から見て、どのようにすれば高等学校教育と大学教育との/高等学校教育と大学入試との関係を改善できると思えますか?アドバイスをお願いします。

-高等学校は国民共通教育課程として指定し、基礎的な教育課程の枠で授業が運営されるようにし、専門的な教育課程などは大学が受け持って運営することで、大学進学後、基礎過程の土台の上で創意的な人材を養成するという与件を整えることが必要と思えます。

# それ以外の学力が低い学生が入ってきた場合、どのように支援しています

か？

-当大学では生涯指導教授制を運営し、学業能力が低い学生に持続的な面談と指導を行っており、工科大学の場合には全体募集単位の基礎学力が不振な学生を対象とし夏休みと冬休みに基礎学力支援プログラムを運営しています。

2004-2007 学年度募集時期別/選考類型別入学生の大学成績現況

主選考要素	入学人数	2004年1学期		2004年2学期		2005年1学期		2005年2学期		2006年1学期		2006年2学期		2007年1学期		2007年
		入学者数	評点平均	入学者数	評点平均	入学者数	評点平均	入学者数	評点平均	入学者数	評点平均	入学者数	評点平均	入学者数	評点平均	入学者数
学生簿	1154	1154	3.22	1077	3.26	878	3.27	753	3.41	626	3.46	597	3.53	604	3.58	652
修能	3516	3516	3.07	3226	3.14	2296	3.15	1814	3.30	1489	3.41	1443	3.44	1602	3.47	1835
学生簿	348	348	2.92	309	2.95	199	2.95	154	3.13	122	3.29	119	3.38	138	3.31	158
修能	2806					2806	3.09	2574	3.13	1887	3.20	1565	3.33	1301	3.39	1248
学生簿	1605					1605	3.00	1475	3.02	1024	3.15	829	3.29	706	3.38	683
学生簿	532					532	2.69	450	2.80	277	2.88	219	3.13	172	3.19	165
修能	2799									2799	3.12	2517	3.17	1876	3.23	1606
学生簿	1727									1727	2.95	1596	2.98	1124	3.14	916
学生簿	478									478	2.79	431	2.76	278	2.90	210
修能	2367													2367	3.17	2176
学生簿	1895													1895	2.98	1731
学生簿	660													660	2.69	583

### 朝鮮大学校の2009学年度入学選考方法

ア.2009学年度入学選考は2008学年年度の基調を維持し、大学入試志願の際に受験生、進学指導教師の混乱を予防する

イ.随時 2-1 募集は社会的配慮対象者と多様な才能所持者の特性を反映する特別選考と、高等学校成績が良い学生を主対象とする一般学生選考を実施し、修能成績を反映せず学生簿を主選考要素として活用する

ウ.随時 2-2 募集は一般学生を主対象とし、最低学力基準を修能成績に設定し、随時 2-1 募集で学生簿成績が相対的に不利な立場にある受験生に機会を与える

エ.定時募集は修能成績の比重を高めることで随時募集と差別化し、受験生の特性により多様な方法で進路を模索できる機会を与える

オ.勉学雰囲気造成と学業成就度を高めるために、当学校校の全ての募集時期に最低学力基準を設定する

### 教育科学技術部の入試政策変更内容

ア. 修能成績提供資料

学年度	修能成績提供資料	学年度	修能成績提供資料
2008	等級	2009	等級、標準点数、パーセンタイル

イ.機会均等選抜制(定員外選考)施行

2008 学年度	2009 学年度
<p>●定員外選考 9%募集</p> <p>①農漁村学生特別選考;4%</p> <p>②専門系高校出身者特別選考;5%</p>	<p>●定員外 9%を以下の3つの選考類型で選抜するが、比率は大学が自律的に決定</p> <p>①農漁村学生特別選考</p> <p>②専門系高校卒業者特別選考</p> <p>③低所得層特別選考</p>

ウ.定時募集の学生簿反映比率自律化

2008 学年度	2009 学年度
●学生簿反映比率最小 30%以上反映を推奨	●大学が自律的に決定

### 朝鮮大学校の主要変更内容

ア. 募集時期別選考類型及び募集人数

募集区分	2008 学年度			2009 学年度		
	願書受付	選考類型	募集人数	願書受付	選考類型	募集人数
随時	2007.9	一般学生選考		2008.9.初	一般学生選考	624

2-1		自己推薦者特別選考			自己推薦者特別選考		
		独立有功者及び国家有功者特別選考			独立有功者及び国家有功者特別選考		
		晩学徒及び主婦特別選考			晩学徒及び主婦特別選考		
		就業経歴者特別選考			就業経歴者特別選考		
		少年少女家長及び受給者特別選考			少年少女家長及び受給者特別選考		
		農漁村学生特別選考(定員外)			農漁村学生特別選考(定員外)		
		専門系高校卒業者特別選考(定員外)			専門系高校卒業者特別選考(定員外)		
		小計			小計		
随時 2-2	2007.10	一般学生選考	1,868	中	一般学生選考	2160	
		看護学科男子学生特別選考	5		看護学科男子学生特別選考	3	
		特技者選考	150		特技者選考	151	
		特殊教育対象者(定員外)	10		特殊教育対象者(定員外)	10	
		小計	2,033 (38.5%)		小計	2,324 (44.7%)	
定時	2007.12	力群	465	末	力群	434	
		ナ群	902		ナ群	883	
		夕群	330		夕群	330	
		小計	1,697 (32.1%)		小計	1,647 (31.6%)	
定員内募集人数			4,840	定員内募集人数			4,765
定員外募集人数			445	定員外募集人数			438
総募集人数			5,285	総募集人数			5,203

イ.随時 2-1 募集定員外類型及び選抜比率調整

2008 学年度	2009 学年度
少年少女家長及び需給者特別選考(定員内)	<廃止>
農漁村特別選考(定員外); 4%	農漁村特別選考(定員外); 4%
専門系高校卒業者特別選考(定員外); 5%	専門系高校卒業者特別選考(定員外); 3%
	<新設>低所得層特別選考(定員外); 2%

※新設事由;機会均衡選抜制施行による

入試情報

2009 基本方向及び主要変更内容

ウ.定時募集選考要素変更-修能成績パーセンタイル点数活用

学年度	修能成績反映資料	学年度	修能成績反映資料
2008	9 等級	2009	パーセンタイル点数

工. 学生簿教科成績学年別反映比率調整(随時 2-1 募集、随時 2-2 募集、定時募集ナ群)

学年度	1 年生	2 年生	3 年生	学年度	1 年生	2 年生	3 年生
2008	30%	40%	30%	2009	全学年反映教科反映教科目別 履修単位		

才. 定時募集師範大学修能成績反映方法変更

区分	2008 学年度	2009 学年度
数学教育科 数理領域	数理工型指定 加算点なし	数理工、ナ型反映 力型反映点数の 20%、加算点付与
科学教育科 科学探求領域	科学探求領域 加算点なし	探求領域指定せず 科学探求領域反映点数の 2% 加算点付与

カ. 定時募集ナ群、タ群修能成績(100%)のみで選抜

反映要素	2008 学年度					2009 学年度				
	配点	基本点数	実質反映点数	名目反映比率 (%)	実質反映比率 (%)	配点	基本点数	実質反映点数	名目反映比率 (%)	実質反映比率 (%)
学 生 簿	教科成績	100	75	25	16.7	活用せず				
	出席成績	-	-	-	-					
	小計	100	75	25	16.7					
修能成績	500	100	400	83.3	94.1	500	-	500	100.0	100.0
合計	600	175	425	100.0	100.0	500	-	500	100.0	100.0

キ. 学生簿出席成績実質反映点数調整

区分		2008 学年度		2009 学年度	
		随時 2-1 随時 2-2	定時ナ群 (検定考査)	随時 2-1 随時 2-2	定時ナ群
出席成績配 点	基本点数	80	20(60)	80	80
	実質反映点 数	20	80(40)	20	20
	合計	100	100	100	100

4p

ク. 定時募集修能成績反映領域及び反映比率

募集	募集	修能成績領域別反映比率及び反映点数	総点	加算点
----	----	-------------------	----	-----



群	単位 系列	言語 領域	数理 領域	外国語 (英語) 領域	社会/科学/職業探求領域		
力群 ナ群 タ群	人文 系列	150 (30%)	100(20%) カ/ナ型 択 1	150 (30%)	100(20%) 社会/科学/職業探求領域中択 1。 優秀な 3 科目のパーセンタイル点 数の平均を反映	500 点 (100%)	-社会探求領域反映点数の 2% -外国語大学志願者は第 2 外国 語/漢字領域の取得点数の 5%
	自然 系列	100 (20%)	100(30%) カ/ナ型 択 1	150 (30%)	100(20%) 社会/科学/職業探求領域中択 1。 優秀な 3 科目のパーセンタイル点 数の平均を反映	500 点 (100%)	-科学探求領域反映点数の 2% -数理力型反映点数の 10% (但し数学教育科は反映点数の 20%)
力群 ナ群	芸能 体育 系列	200 (40%)	-	200 (40%)	100(20%) 社会/科学/職業探求領域中択 1。 優秀な 3 科目のパーセンタイル点 数の平均を反映	500 点 (100%)	-なし

ケ.随時 2-1 募集一部特別選考面接考査を廃止

-独立有功者及び国家有功者、晩学徒及び主婦、専門系高校卒業者(定員外)面接考査廃止

コ.随時募集及び定時募集の最低学力基準設定

-随時 2-1 募集

学年度	学生簿最低学力基準	学年度	学生簿最低学力基準
2008	なし	2009	学生簿反映教科等級算出結果 平均等級が <sup>6</sup> 7.0 以内

-随時 2-2 募集

学 年 度	修能最低学力基準	学年度	修能最低学力基準
2008	●全体募集単位共通の最低学力基 準;なし ●募集単位別の最低学力基準;なし	2009	●全体募集単位の共通最低学力 基準;新設 ●募集単位別最低学力基準;調 整(別添の細部内訳参照)

-定時募集

学年度	修能最低学力基準	学年度	修能最低学力基準
2008	なし	2009	修能言語領域、数理領域、外国語(英語)領域の平均 等級が 7.0 以内(但し、音楽教育科は修能言語領域、 外国語(英語)領域の平均等級が 7.0 以内) ※美大(美学美術史専攻を除く)、体育大は適用せず

入試情報

2009 基本方向及び主要変更内容

●2009 学年度随時 2-2 募集修能成績最低学力基準●

1)募集単位共通<新設>

募集単位	最低学力基準
全募集単位 (美術大学(美学美術史専攻を除く)、体育大学を除く)	言語領域、数理領域、外国語(英語)領域等級平均が 7.0 以内 ※但し音楽教育科は言語領域、外国語(英語)領域の等級平均が 7.0 以内)

2)一般学生選考

大学	募集単位	最低学力基準
人文科学大学	全募集単位	外国語(英語)領域又は言語領域中 1 領域が 5 等級以内
自然科学大学	数学科、科学科、生物学科、生命工学科、食品栄養学科、海洋生命科学科	外国語(英語)領域又は数理領域(力型又はナ型)中 1 領域が 5 等級以内
	コンピューター統計学科、物理学科	外国語(英語)領域又は数理領域(力型又はナ型)中 1 領域が 6 等級以内
法科大学	法学科	外国語(英語)領域又は言語領域中 1 領域が 5 等級以内
社会科学大学	全募集単位	外国語(英語)領域又は言語領域中 1 領域が 5 等級以内
経商大学	全募集単位	外国語(英語)領域又は言語領域中 1 領域が 5 等級以内
工科大学	全募集単位(土木工学科、建築学部、船舶海洋工学科を除く)	外国語(英語)領域又は数理領域(力型又はナ型)中 1 領域が 6 等級以内
	土木工学科、建築学部、船舶海洋学科	外国語(英語)領域又は数理領域(力型又はナ型)中 1 領域が 5 等級以内
電子情報工科大学	全募集単位	外国語(英語)領域又は数理領域(力型又はナ型)中 1 領域が 6 等級以内
師範大学	国語教育科、英語教育科、特殊教育科	外国語(英語)領域、言語領域等級の和が 7 以内
	ドイツ語教育科	外国語(英語)領域又は言語領域中 1 領域が 4 等級以内
	家庭教育科	外国語(英語)領域又は数理領域(力型又はナ型)中 1 領域が 4 等級以内
	数学教育科、科学教育学部	外国語(英語)領域、数理領域(力型又はナ型)等級の和が 7 以内
外国語大学	音楽教育科	外国語(英語)領域又は言語領域中 1 領域が 5 等級以内
	英語科、日本語科、中国語科、アラブ語科、ドイツ語科、ロシア語科、スペイン語科、フランス語科	外国語(英語)領域又は言語領域中 1 領域が 5 等級以内
体育大学	全募集単位	最低学力基準なし
美術大学	全募集単位(美学美術史専攻を除く)	最低学力基準なし
	美術学部美学美術史専攻	外国語(英語)領域又は言語領域中 1 領域が 5 等級以内
医科大学	看護大学	外国語(英語)領域又は数理領域(力型又はナ型)等級の和が 7 以内
相談心理学部	相談心理学部	外国語(英語)領域又は言語領域中 1 領域が 5 等級以内
言語治療学部	言語治療学部	外国語(英語)領域又は数理領域(力型又はナ型)中 1 領域が 5 以内

3)特殊教育対象者選考

大学	募集単位	最低学力基準
----	------	--------

師範大学	特殊教育科	外国語(英語)領域又は言語領域等級の和が7以内
社会科学大学	行政福祉学部	外国語(英語)領域又は言語領域中1領域が5等級以内
電子情報工科大学	コンピューター工学部	外国語(英語)領域又は数理領域(力型又はナ型)中1領域が6等級以内

4)特技者選考;なし

サ.随時 2-2 募集、定時(カ.ナ.夕)群の募集志願資格を強化

区分		志願資格	該当専攻
随時 2-2 募集		修能言語、数理、外国語(英語)領域に全て応募した者 ※但し音楽教育科は修能英語、外国語(英語)領域に全て応募した者	●一般学生 (美術大学(美学美術史専攻を除く)、 体育大学を除く) ●看護学科の男子学生 ●特殊教育対象者(定員外)選考
定時 募集	人文系、自然系	修能言語、数理、外国語(英語)、 探求領域に全て応募した者	一般学生
	芸術体育系	修能言語、外国語(英語)、探求領域に 全て応募した者	一般学生

シ.随時 2-1 募集農漁村学生特別選考志願資格の基準調整

-追って決定

ス.美術大学実技考査及び実績点数の反映比率の上向き調整

セ.随時 2-1 募集、随時 2-2 募集 1 段階合格者の選抜比率を 2.5 倍数から 3 倍数に調整

ソ.薬学科新入生募集中断

-薬学科が6年制に転換されたため、2009 学年度より2年間、新入生募集を中断し、2011 学年度から3年生編入生を募集